

## <C3 協働制作>代表値、ヒストグラム等からデータの考察を行う活動

### 数学科・中学校1年・資料の分析と活用

ねらい：表計算ソフトを活用して、個人でデータを分析し、そのデータの傾向を読み取り、批判的に考察し判断する。

#### ① データ収集

- ・教師から配信された比較する2クラスのデータを受け取る。(例、通学時間、テスト結果等)

※生徒が分析に必要なとする代表値を求められるように関数を事前に入力しておき、ヒストグラムは階級の幅を変更したものを数種類準備する。

#### ② 考察

- ・個人でヒストグラムの階級の幅を変えたり、代表値を比較したりしながら考察を行い、タブレットPCに書き込む。(近くの生徒とペア活動を取り入れることも考えられる)

#### ③ 発表

- ・個人のデータをタブレットPCで共有し、データから読み取った傾向を発表する。

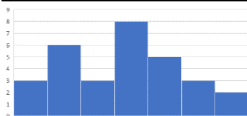


	A	B
最大値		
最小値		
範囲		
平均値		
中央値		
最頻値		

### 期待される効果

代表値の算出や、ヒストグラム作成の時間を削減することができ、データの分析や考察に時間をかけることができる。

ヒストグラムの階級の幅を容易に変更することができ、データの分布の傾向を多面的な見方で読み取り、批判的に考察し判断する力の育成が期待できる。



使用する機能：関数、ヒストグラム作成  
使用アプリ例：SKYMENU、エクセル 等